調査依頼書（CentreCOM® FS708XJ）

年　月　日

一般事項

1. 御社名：

部署名：　　ご担当者：

ご連絡先住所：〒

TEL：　　（　　）　　FAX：　　（　　）

2. 購入先：　　購入年月日：

購入先担当者：　　連絡先（TEL）：　（　　）

ハードウェアとネットワーク構成

1.ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号（S/N）、リビジョン（Rev）

製品名：　CentreCOM **FS708XJ**

S/N＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Rev＿＿

2.お問い合わせ内容　　□別紙あり　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

3.ネットワーク構成図　　□別紙あり □別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

PN J613-M6822-00 Rev.A 000710

Allied Telesis

ファーストイーサネット・スイッチ

CentreCOM® *FS708XJ* ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS708XJ をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、10BASE-T/100BASE-TX ポートを 8 ポート装備したファーストイーサネット・スイッチです。
本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

特長

- ○ 16,000 個の MAC アドレス登録数をサポート
- ○ Half Duplex 時のフローコントロール（バックプレッシャー機能）をサポート
- ○ オートネゴシエーション機能をサポート
- ○ AC 電源を内蔵
- ○ カスケード接続専用ポート（MDI）を 1 ポート装備
- ○ ポートごとの通信状況が一目でわかる LED を装備
- ○ 付属のウォールマウント用タッピングスクリューにより、壁などの垂直面に取り付け可能
- ○ マグネット Kit M（別売）により、スチール製デスクサイドなどの垂直面に取り付け可能

梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかどうか確認してください。
また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包することが望まれますので、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

- ○ CentreCOM FS708XJ 本体
- ○ 電源ケーブル（AC100V 用）
- ○ ゴム足（粘着タイプ・4 個）
- ○ ラックマウントキット（ブラケット 2 個、ネジ 4 個）
- ○ ウォールマウントキット（タッピングスクリュー2個、プラスチックアンカー 2 個）
- ○ マグネット Kit M（別売）取り付け用ネジ（4 個）
- ○ 製品保証書（3 年保証）
- ○ お客様インフォメーション登録カード
- ○ シリアル番号シール
- ○ ユーザーマニュアル（本書）

各部の名称と機能

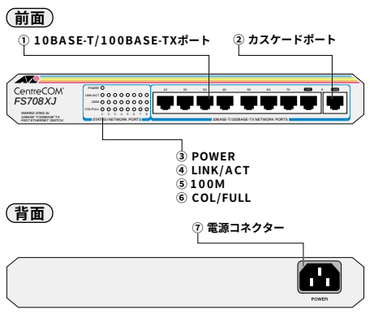


図 1　外観図

① 10BASE-T/100BASE-TX ポート
100BASE-TX、または 10BASE-T の UTP ケーブルを接続するためのコネクターです。 これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度（10Mbps/100Mbps）と通信モード（Full Duplex/Half Duplex）を自動設定します。

② カスケードポート
本製品を他のスイッチやリピータと接続する場合に使用するカスケード接続専用のポートです。

カスケードポートはポート 8 と共用のため、ポート 8 を使用している場合は使用できません。

③ POWER LED（緑）
本体に電源が正常に供給されているときに点灯します。

④ LINK/ACT LED（緑）
ポートと接続先機器がリンクしたときに点灯します。また、ポートがパケットを送受信しているときに点滅します。

⑤ 100M LED（緑）
ポートが 100Mbps で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbpsで動作していることを示します。

⑥ COL/FULL LED（緑）
ポートが Full Duplexで動作しているときに点灯します。Half Duplex で動作している場合は、コリジョンが発生しているときに点滅します。

⑦ 電源コネクター
電源ケーブルを接続するためのコネクターです。

設置するまえに

● 設置にあたってのご注意
本製品の設置・使用を始める前に、必ず 3 ページの「安全のために」をよくお読みください。設置に当たっては、次の点にご注意ください。

- ○ 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- ○ 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- ○ 本体側面にある通気口をふさがないように設置してください。
- ○ テレビ、ラジオ、無線機のそばに設置しないでください。
- ○ 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置は避けてください。
- ○ 本製品は屋外ではご使用になれません。
- ○ コネクターの端子にさわらないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

● 電源
本製品を AC100V ～ 120V の電源電圧で使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。また、指定された電源電圧以外で使用しないでください。
不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

● デスクの上などに設置する場合
本製品をデスクの上などに設置する場合は、本体底面の四隅にある□マークの位置に同梱のゴム足を貼り付けてください。ゴム足は本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をしますので、本製品をデスクの上などに設置する場合は、必ずゴム足を使用してください。

● 19 インチラックに取り付ける場合
付属のラックマウントブラケットを使用すると、本製品をEIA規格の19インチラックに取り付けることができます。

1. 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずします。
2. ゴム足が貼られている場合は、ゴム足をはがします。
3. 本体側面にブラケットを合わせ、ブラケット取り付け用ネジで両側ともしっかりと固定します。

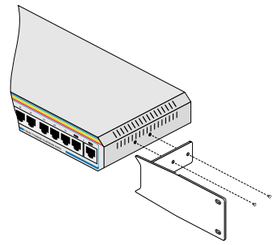


図 2　ラックマウントブラケットの取り付け

4. 19インチラックの希望する位置に本体を合わせ、適切なネジ（別途ご用意ください）でしっかりと固定します。

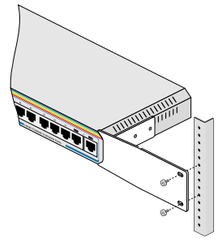


図 3　19 インチラックへの取り付け

● 壁に取り付ける場合
付属のウォールマウント用タッピングスクリューを使用すると、本製品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。

石膏ボードやベニヤなど，中空になっている壁に取り付ける場合は、付属のプラスチックアンカーを併用してください。

本体と UTP ケーブルを合わせ、最大 5kg 程度の垂直重量が加わりますので、しっかりとした壁に取り付けてください。手で押しただけでへこんでしまうような壁には取り付けないでください。

1. 次の点を考慮しながら、設置場所と設置方向を決めてください。
   - 電源ケーブルとUTPケーブルの接続が可能であること
   - LED の表示が監視可能であること
2. タッピングスクリューを埋め込む位置を決めます。このとき、タッピングスクリューの間隔が本体底面にある2つの取り付け穴の間隔と同じになるように注意してください。

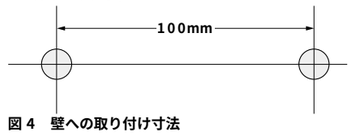


図 4　壁への取り付け寸法

○ ネジのたたない壁への取り付けには、プラスチックアンカーを使用します。プラスチックアンカーは、あらかじめきりやドリルなどで開けておいた穴に挿し込み、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカーがやっと入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎるとがたつきの原因となります。

3. ネジ頭を 5mm ほど残して、タッピングスクリューを壁（または、プラスチックアンカー）にねじ込みます。

4. 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴にさし込むようにして、本体を壁に取り付けます。
   ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかり固定させてください。

● 別売マグネットキットの取り付け

別売の「マグネット Kit M」を使用すると、OA デスクの横などの垂直な場所に設置することができます。

1. ゴム足が貼られている場合は、ゴム足をはがします。
2. 付属のマグネットKit M取り付け用ネジを用いてマグネットを本体に固定します。

マグネットの取り付けには、本体底面のゴム足取り付け位置(□マーク)の内側にあるネジ穴を使用してください。

マグネットは、ゴム足およびウォールマウント用タッピングスクリューと同時に使用することはできません。

マグネット用のネジは本製品に付属のものを使用してください。

接続のしかた

● ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。

	種類	最大距離
10BASE-T	UTPケーブル カテゴリー3以上*	100m
100BASE-TX	UTPケーブル　カテゴリー5*	100m

*弊社販売品のシールド付カテゴリー 5 ケーブルにも対応しております。

● 起動と停止

電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクターに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込むと起動します。電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントから抜くと停止します。

本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で電源が入りますのでご注意ください。

電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだまま、ソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

● 通信速度 / 通信モードの設定

接続先機器の通信モードは、次の表の○印の組み合わせになるように設定してください。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーションをサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

		自ポート CentreCOM FS708XJ
		オートネゴシエーション
接続先ポート	10M Half 固定	○
	10M Full 固定	—
	100M Half 固定	○
	100M Full 固定	—
	オートネゴシエーション	○

● 接続手順

1. 本体前面の 10BASE-T/100BASE-TX ポートと接続先機器を UTP ケーブルで接続します。

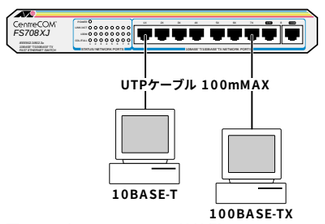


図 5　スタンドアローンの接続例

2. 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクターに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。
3. 本体前面の POWER LED(緑)が点灯したことを確認します。UTP ケーブルが正しく接続され、接続先機器の電源が入っていれば、接続したポートの LINK/ACT LED(緑)が点灯します。

● カスケード接続

カスケードポートを使用すると、クロスケーブルを使用することなく、簡単にカスケード接続することができます。また、スイッチ同士のカスケード接続では、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数は、ネットワーク上で使用しているアプリケーションのタイムアウトによって制限されることがあります。

本製品のカスケードポートと他のスイッチやリピータを接続する UTP ケーブルの長さは 100m 以内です。

1. 本製品のカスケードポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続します。

カスケードポートはポート 8 と共用のため、ポート 8 を使用している場合は使用することができません。

2. UTP ケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続先機器の通常の 10BASE-T/100BASE-TX ポートに接続します。

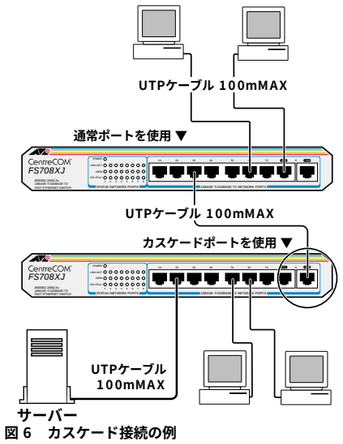


図 6　カスケード接続の例

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、次のことを確認してください。

● POWER LED は点灯していますか？

POWER LED が点灯していない場合は、電源ケーブルのコードに断線がないか、電源プラグが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● LINK/ACT LED は点灯していますか？

LINK/ACT LED は接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。
点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。
- UTP ケーブルが正しく接続されているか、正しい UTP ケーブルを使用しているか、UTP ケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。2 つのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは最長 100m と規定されています(ただし、100Mbps のクラスII のリピーターをカスケード接続する場合のリピーター間は5m 以内としてください)。
- ポート8とカスケードポートを同時に使用していませんか。ポート 8 とカスケードポートは共用のため、両方を同時に使用することはできません。どちらか一方を選択してご使用ください。
- 本製品のカスケードポートを確認してください。本製品と他のスイッチやリピータをカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと、接続先機器の通常の 10BASE-T/100BASE-TX ポートを接続してください。
- 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTP ケーブルに問題がないか確認してください。ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため(結線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

● HUB の接続段数は正しいですか？

- リピーター(＝HUB)の数が制限を越えていないか確認してください。
- イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピーターの台数は、最大 4 台までとされています。
- ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスII のリピーターは、1 つのコリジョンドメイン内で 2 台までをカスケード接続することができます。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m 以内としてください。クラスI のリピーターはカスケード接続することができません。

●通信速度 / 通信モードの設定を確認してください。

本製品の 10BASE - T/100BASE - TX ポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。IEEE802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品の 10BASE - T/100BASE - TX ポート接続する場合は、接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

製品仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3/IEEE802.3u
転送モード	
	ストア&フォワード
電源部	
定格入力電圧	AC100-240V
入力電圧範囲	AC90～255V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	0.3A
平均消費電力	5.0W（最大6.0W）
平均発熱量	4.3kcal/h（最大5.2kcal/h）
環境条件	
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95%以下（ただし、結露なきこと）
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下（ただし、結露なきこと）
外形寸法（突起部含まず）	
	260(W) X 117(D) X 38(H)mm
重量	
	870g
MACアドレス登録数	
	16,000個（最大）
アドレス保持時間	
	240秒
メモリー容量	
	256KByte（1ポートあたり最大、トラフィックの高いポートに優先割り当て）
適用規格	
安全規格	UL1950
EMI規格	VCCIクラスB

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、弊社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

● 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、別紙の「**調査依頼書(CentreCOM FS708XJ)**」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先に FAX してください。電話による直接の問い合わせは、できるだけご遠慮ください。FAX で詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。
記入内容の詳細については、「**調査依頼書のご記入にあたって**」をご覧ください。

○ **アライドレテシス サポートセンター**
Tel：0120-860-772
月～金(祝・祭日を除く)　9:00 ～ 12:00
13:00 ～ 18:00
土(祝・祭日を除く)　10:00 ～ 17:00

Fax：0120-860-662
年中無休 24 時間受け付け

調査依頼書のご記入にあたって

「**調査依頼書**」は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。
迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、次の点にそってご記入ください。
記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

● ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。
製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)　S/N 0047744990805087 Rev A1

● お問い合わせ内容について

○ どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。
○ エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

● ネットワーク構成図について

○ ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
○ 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

○ 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
○ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
○ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
○ 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2000　アライドテレシス株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

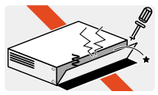
2000 年 7 月　Rev.A　初版
製品　Rev.F1 以降に対応。

安全のために

必ずお守りください

警告　下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。


分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

雷のときはさわらない

異物は入れない　水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。本製品は AC100 - 240V で動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは 100V 用ですのでご注意ください。

100~240V
電圧注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。
接地端子付きの 3 ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの 3 ピン電源コンセントに接続してください。

3ピン
コンセント

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

たこ足禁止

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

ふさがない

湿気やほこりの多いところ油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

プラグを抜け

電源ケーブルを傷つけない
火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：
- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 熱器具に近づけない、加熱しない。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

傷つけない

ご使用にあたってのお願い

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

次のような場所での使用や保管はしないでください
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所

取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな　中性洗剤使用　堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください
・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

シンナー類禁止